



南知多町デイサービスの敬老会では、ご利用者に楽しんでいただくよう職員が持ち寄りで催し物を企画しました。ご利用者にもお手伝いしていただき「絵本の読み聞かせ」コスプレした職員が「手品」や「踊り」などを行いました。



ひだまりでは、ご利用者が100歳になられ南知多町より金の扇子をお祝いいただき、せっかくなので記念写真に1枚撮らせていただきました。他に、卒寿・白寿・喜寿のお祝いで職員お手製の色紙をプレゼントさせていただきました。

あい寿の丘「秋の実り」

「秋めいてきてスーパーにもいろいろな果物が並び始めたよとテレビでやってたよ」というご利用者同士の会話から、「工作してみよう」ということになりました。

「形はどうする?」「葉っぱはどれくらいの大きさ?」「はいここ押さえているからテープで止めて」とご利用者の手慣れた指導の下、出来上がった柿を他のご利用者に見ていただくと「上出来だがね」「本物みたい」と褒めていただきました。



ひだまり「貼り絵」

秋にちなんでコスモスと秋の果物の貼り絵を行いました。折り紙を細かくちぎり、のりでペタペタと一枚ずつ貼っていく根気の必要な作業です。真剣な表情で取り組みながらも時折



ニッコリと笑顔になり「ここは、何色の折り紙で貼ったらいいかなあ」「色を混ぜると良いかなあ」と言いながら職員と相談して進めました。完成したときは、達成感にあふれた表情の笑顔でした。

南知多町デイサービスセンター「手作り作品」

小物入れを作成するため、牛乳パックに色画用紙を貼り、紅葉やいちょうなどの形に切った色紙を選び、ご利用者にのりで貼っていただきました。その上からトレーシングペーパーで覆うと、色紙の模様が透けて見え、風情のある和風の小物入れができあがりしました。

「透ける紙を貼ると、立派に見えるねえ」と、できばえに満足されていました。

この作品は、秋の作品展に展示したいと思えます。



あい寿の丘「福祉敬老フェア」

9月17日(土) 南知多町 福祉敬老フェア 第1回が開催されました。

南知多町の福祉・介護に気軽に楽しく触れる・知ることのできるイベントで、福祉施設事業者のブースとして出展しました。



インドネシアからの技能実習生 3名と共に、地域の方々とふれあいが出来ました。施設利用の問い合わせもあり、施設のサービスを知っていただくよい機会となりました。

これらのブースの他に、映画上映会・縁日・健康測定・キッチンカーなどが並び、407名の来場があり大変盛り上がったフェアとなりました。

ひだまり「運動会」



ひだまりが他の施設より一足早く運動会を行いました。紅白のタスキを巻いて競技に挑みました。

プログラムは、玉入れ・風船バレー・パン食い競争です。ご利用者は、どの競技にも「お〜」「頑張る」「やった〜」と声を出しながら目を輝かせて頑張っていました。

パン食い競争では、パンの代わりに大きなどら焼きを用意。大きな口をあけて必死にどら焼きを取ろうと頑張っていました。



みなみ苑「おはぎ」

みなみ苑のおやつ時間に、厨房職員が作ってくれたおはぎをお出ししました。

食べる前にラジオ体操でしっかり体を動かし、しりとりで頭の体操をして、いつものほうじ茶ではなく緑茶を用意しておはぎをいただきました。

「おいしいわ」「柔らかくて食べやすいね」「熱いお茶いいね」と好評でした。



みなみ苑「敬老の日のお祝い料理」

みなみ苑で敬老の日のお祝いとして昼食を、揚げたて天ぷらランチにしました。目の前でピーマン、えび、カボチャ、えのき、なす、かき揚げを揚げ、すぐにその場で食べていただきました。

他に酢の物、冬瓜汁、フルーツを召し上がり、天ぷらのおかわりをする人もみえました。「まあ何にも入らん」「揚げたて美味しいよ」「おかわり」と大変喜んでいただきました。



そよかぜデイサービスセンター「願い事かなえました」

七夕の、短冊に書いたお願い事の中に、「喫茶店に行きたい」というのがありました。それなら願いをかなえようということで、喫茶店を開くことにしました。メニューから、好きなケーキと飲み物を選んでいただき、昔話をしながらゆっくりとしたひと時を過ごしていただきました。



そよかぜデイサービスセンター「口腔嚥下体操」



毎日、食事前に口腔嚥下体操を行っていますが、より分かりやすく行ってもらうために大きな口腔体操人形を作りました。人形の笑顔につられるのか、ご利用者は笑顔で元気に体操を行っています。むせることなく、おいしく食事を食べて、いつまでも元気で過ごしていただきたいです。